

指導行為例一覧

本施設における指導行為の例を一覧として下記の通り列挙いたします。

※これらの行為を禁止する場合、「施設への申告・許可のない営利活動、または営利もしくは指導を主たる目的とする施設利用であること」を前提とします。

■ 技術指導・トレーニング系

- ドリブル技術の指導
- パス練習の指導
- シュートフォームの矯正
- トラップ・ボールコントロールの指導
- キーパー技術（キャッチ・セービング・ポジショニング等）の指導
- 個別スキルアップレッスン
- 走り方・ステップワークの指導
- 体幹トレーニングの指導
- ストレッチ・ウォームアップの指導
- クールダウン方法の指導

■ 戦術・ゲーム理解に関する指導

- ポジショニングの指導
- 攻撃戦術（ビルドアップ、崩し方など）の指導
- 守備戦術（プレス、カバーリング等）の指導
- セットプレーの指導
- チーム戦術の分析・改善指導
- 試合中のコーチング（指示出し）
- 動画を使った戦術解説・フィードバック

■ コーチ・トレーナーとしての行為

- コーチとしてチームを率いる行為
- トレーナーとして練習メニューを作成し実施
- 指導者としての立場で参加者を集める行為
- 指導料・参加費を徴収して行うレッスン
- 外部スクール・クラブの出張指導
- 個人レッスン（マンツーマン指導）
- 複数人を対象としたグループレッスン

■ イベント・講習会系

- 技術講習会の開催
- クリニック（サッカー教室）の開催

- 体験レッスンの実施
- 指導者によるワークショップ
- スクールの宣伝を兼ねた無料レッスン（営利目的と判断され得る）

■ 営利目的と判断されやすい行為

- SNS等で「レッスン募集」「指導します」と告知して利用
- 指導料・参加費を受け取る行為
- スクール・クラブの営業活動を兼ねた利用
- スポンサー・企業協賛を伴う指導イベント
- 指導者としての肩書きを使った活動
- チームやスクールの勧誘を目的とした利用

■ その他、指導とみなされ得る行為

- 明確な指示を出しながら練習を仕切る行為
- 練習メニューを組んで参加者に実施させる行為
- 参加者に対して技術的なアドバイスを継続的に行う行為
- 練習の進行・管理を行う行為
- 指導者用ビブス・ウェアを着用しての活動
- 指導者としての立場で参加者を統率する行為